

令和 7 年度

新しい地方経済・生活環境創成交付金（デジタル実装型 TYPES）

群馬県「欠席連絡（感染症情報）のデータ連携事業・事業運営業務」

# 欠席連絡（感染症情報）のデータ連携事業 広報資料（保育施設向け）

令和 8 年 3 月



## そもそも感染症システムとは？ -感染症システムによりこどもを守る-

- ✓ 感染症システムは、リアルタイムな感染症情報の共有を通じて、こどもたちを守るための迅速かつ的確な判断・行動を可能にします。

### 感染症の流行を早期探知

- ✓ 地域の流行状況をリアルタイムで把握
- ✓ 感染症急増時にアラート表示で注意喚起

### 事務作業の省力化

- ✓ 臨時休業報告等の届け出書類を電子化

感染症システム



迅速・的確に判断して  
こどもたちを守る



保育士等



看護師

### スムーズな情報共有

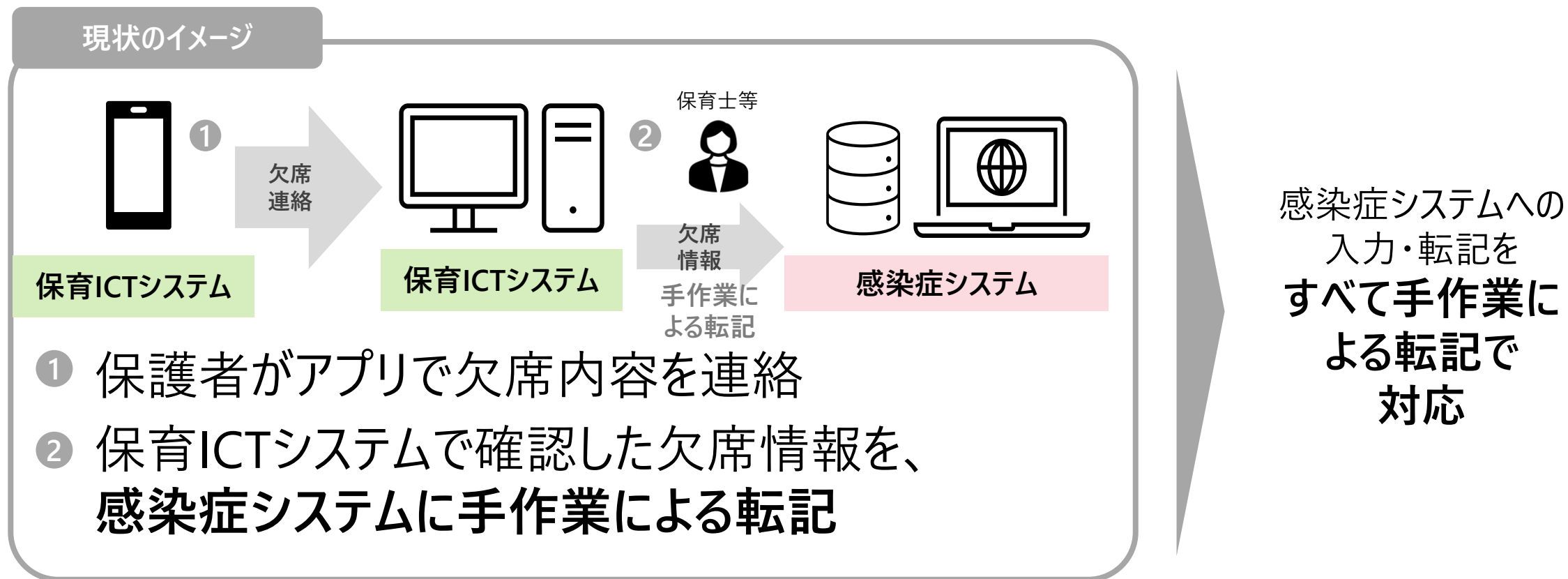
- ✓ 看護師等アラートメールが届く
- ✓ 行政機関への情報共有をすることで地域全体でこどもを守る

### データを施設内で有効活用

- ✓ グラフ等の出力をし保健だより等に活用
- ✓ 好みの条件で罹患率グラフを出力

## 手作業による転記 -現在の感染症システムの利用方法-

- ✓ 現在、保護者からの欠席連絡は保育ICTシステムで受け取っていますが、感染症システムとは連携していません。
- ✓ そのため、感染症システムへの入力は**保育士等の手作業による転記**で行われています。



## お悩みではありませんか？ -日々の欠席連絡・報告業務-

- ✓ 保育士等や看護師の皆様は、欠席連絡の把握・転記作業に多くの時間を費やしており、大きな負担となっています。

•集計情報を感染症システムへ毎日手作業による転記



保育士等



看護師

## その悩み、解決します - 欠席連絡の"自動連携"で、負担軽減と感染症対策の強化を両立-

- ✓ 負担軽減のために、保護者から保育ICTシステム経由で寄せられた欠席連絡を、「感染症システム」へ自動で連携します。
- ✓ 保育士等・看護師の手作業による転記業務を概ね"ゼロ"にし、リアルタイムでの情報共有を実現します。

### システム連携のイメージ



- 1 保護者がアプリで欠席内容を連絡
- 2 保育ICTシステムから感染症システムに自動連携

**保育士等・看護師の手作業による転記業務が概ね"ゼロ"**

感染症システムへの  
**手作業による  
転記の  
負担軽減**

+

感染症システムの  
利用促進による、  
**早期の  
感染症対策**  
を目指します

## どう変わる？ -毎日の手作業による転記業務が概ね"ゼロ"に-

- ✓ これまで毎日行っていた手作業による転記業務が、本事業のデータ連携により自動化されます。
- ✓ 創出された時間で、保育士等はより専門性の高い、こどもと向き合う時間に集中できるようになります。

これまで

感染症システムへ  
**毎日、手作業による転記が必要**



これから

データの自動連携により  
**手作業による転記が概ね不要**



## 効果あり！ -県内3園での実証で、業務時間の削減を確認-

- ✓ 実際に、実証事業に参加した施設では、最大で90%の業務時間を削減しました。

### 感染症システムへの入力に係る1日の業務時間の変化※

|    | 自動連携前 |   | 自動連携後 |        |
|----|-------|---|-------|--------|
| A園 | 1 分   | ➡ | 30秒   | 削減率50% |
| B園 | 5 分   | ➡ | 3 分   | 削減率40% |
| C園 | 10分   | ➡ | 1 分   | 削減率90% |

※A園は1クラス分（定員105名）、B、C園は全クラス分（B園定員90名、C園定員125名）の入力業務に係る業務時間となっています。

## こんな声も！ -保育士等・看護師からは好感触の声-

- ✓ 保育士等からは、「負担が軽減した」、「入力ミスが減った」、「園児の対応に注力できるようになった」という声が上がりました。
- ✓ また、感染症システムがより活用されることへの期待の声も上がりました。

### 便利になった・負担が軽減された

- ✓ 感染症システムを開かなくてもよくなり、負担が軽減された。
- ✓ 手作業による転記の手間が省かれ、便利になった。



保育士等



看護師

### 入力ミスが減った

- ✓ これまで園児1人に対して一つの症状しか入力していなかったが、複数症状の入力が可能になった。
- ✓ 手作業による転記による誤入力を防止できた。

### 園児対応など、その他対応が可能になった

- ✓ ほけん日誌記載や園児対応に時間を確保できた。
- ✓ 体調不良園児の対応や担任不在時のクラス支援に集中することが可能になった。

### 感染症システムが活用されることに期待する

- ✓ 他園での自動連携が進むことで、感染症システム上で地域の状況がより正確に確認できるようになる。その有用性を実感してもらいたい。